

## 第6学年 外国語科学習指導案

指導者 齋藤 遼馬

英語専科 名取 明子

ALT ブライアン・ロング

### 1 単元名 We all live on the Earth.

～河口湖を訪れる世界の人々に、富士山の周りに住む生き物の魅力を伝えよう～

### 2 単元について

#### ○教材観

本単元は、NEW HORIZON Elementary English Course6 Unit5 “We all live on the Earth.”の単元を基に児童の実態に合わせて構成したものである。実際に伝える相手を設定し、身近な自然の生き物に対する児童の興味関心をもとに、慣れ親しんだ表現を使って、分かりやすく伝える能力を育成するため、単元構成を行った。

本単元では、言語活動として「河口湖を訪れる世界の人々に、富士山の周りに住む生き物の魅力を伝えよう」と設定した。本校が位置する富士河口湖町は、世界遺産である富士山を有し、豊かな自然に囲まれた地域である。そのため、他の地域には見られない様々な生き物が住んでおり、興味を持っている児童が多い。また、観光地であることから、毎年世界各国からたくさんの人々が訪れる地域でもある。そのような地域的な特徴を生かした学習活動が展開できるよう、単元構成を工夫した。

本校では5年次に総合的な学習の時間において富士山をテーマに学習を行うため、児童は富士山周辺の生き物について学びを深めてきた。富士山の生き物に対して魅力を感じている児童が多い。教科書では、地球に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表する活動が設定されているが、本校が指定を受けている英語教育改善プラン推進事業の事業目的である「発信力向上」に向けて、児童が自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動を設定したいと考えた。本単元の学習のゴールは、魅力を伝えたい動物についてのポスターを作成し、富士山関連の施設や地域の店などに展示することである。教室での学びが実社会とつながるという点でも、児童にとって意欲的に取り組みやすい学習内容である。また、ポスターを作成する上で、発表の機会を繰り返し設定し、伝えたい情報を整理して話す力を育みたい。最初は6年生同士で、次に5年生に、最後に河口湖を訪れる世界の人々に、ポスターを作成して紹介するという流れで、伝える相手を意識しながら、言語活動を繰り返し行えるようにした。このことで、相手や目的に応じて、自身の発表内容を再考し、より魅力が伝わるようにブラッシュアップさせていきたい。

以上のねらいを達成するために、教科書教材に含まれる Chant や Sing などを使いながら、表現のインプットを確実に行っていく。また、児童が言語活動を行ったり、相手から聞き取った情報を整理したりしながら自分の考えをじっくり形成していくようにする。加えて、発表内容に関する、やり取りをする中で質問やリアクションの大切さに気付かせ、自ら考え判断し、主体的に表現する力を育てていきたい。

#### ○児童観

本学級は、男子 13 名、女子 15 名の計 28 名である。6月に行った英語意識アンケートの結果では、外国語科に対する意欲はやや高く、全体的に肯定的な回答をした児童が多い。「英語の勉強は好きで

すか。」という質問に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」といった肯定的な回答は 65%であった。また、「英語の勉強は大切だと思いますか。」という質問に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」といった肯定的な回答は 92%であった。

このことから、英語は大切だと肯定的に感じている一方で、「できない」「分からない」という考えをもつ児童が学級に多くいるといえる。これは、授業で英語に慣れ親しんではいるが、定着に難しさを感じ、成果が児童の中に現れていないからだと考えられる。また、「振り返りカード等を書くことで、自分の学習を振り返ったり、次の学習で頑張りたいことを考えたりしていますか。」という質問に対して、肯定的に答えた児童は 73%であり、学習への意欲を感じる。一方で、「内容が難しくて分からない」「何を言っているのか分からない」という児童の声もあり、授業で扱う英語表現を全て理解しなければならないという捉え違いや、児童の学習に対する不安も感じられた。よって、授業の中で児童が安心して英語が使える場の設定を工夫し、「わかった」「できた」という達成感を持てる授業を目指したい。

「聞くこと」「話すこと(発表)」の領域においては、活用できる既習表現の定着に個人差が見られ、様々な支援を必要とする児童が多い。話す側の視点でいえば、自分が伝えたい内容を、どのように英語で表現するのかという点に関して個人差が非常に大きい。また、聞く側の視点では、相手の発表内容を適切に理解することや、発表内容に対して自分の意見を伝えたりや質問したりすることを苦手と感じている児童が多い。そこで本単元では、「話すこと(発表)」に焦点を当て、友達と発表をしあい、感想を伝え合ったり、質問し合ったりする活動を通して、英語での発表に意欲的に取り組めるようにしたい。

児童は、Unit4 “Summer vacations in the world.”で過去に経験したことを伝え合う学習を行った。そこでは、行った場所や食べた物、感想等を内容や伝え方を工夫しながら伝える様子が見られた。既習の Unit も活かしながら、児童が自分の思いや考えなどを目的や相手に応じて伝えることができるように、何のための活動なのかを常に問いかけ、確認していく。

## ○指導観

本校では、研究主題を『すべての児童が「わかる・できる」を実感できる授業の創造～「指導と評価の一体化」を図るための学習評価を通して～」として研究を進めている。また、令和2年度より「英語教育改善プラン推進事業」の指定校となり研究を行ってきた。その中でも特に、「①外国語の授業づくり」「②学習評価」を意識して授業展開や活動内容を考えていくこととし、研究を進めている。

本単元における「①外国語の授業づくり」については、まずは教師が目標(単元のゴール)をしつかりと見据え、バックワードデザイン(逆向き設計)で授業づくりを行うことにより、毎時間着実にゴールに近づいていけるようにする。重点的に指導する領域として、「話すこと(発表)」に焦点を当てた単元構成を行った。身につけさせたい力として、友だちの発表を聞き、おおまかな内容を理解したり、どんなところに魅力があるのかを考えたりしながら聞く力を育てていきたい。また、相手や目的に応じてより魅力が伝わる発表になるように、情報を整理する力も身につけさせていきたい。英語の学習で身に付けた力を他教科の学習や生活など様々な場面で活用できるようにしたい。

そのために、単元の前半から活動の目的やゴールを常に意識させて指導を行っていく。例えば、「どうすれば自分が伝えたいことを相手にわかりやすく伝えることができるのか。」「どんな情報が必要なのか。どのように英語で表現すればいいのか。」ということを繰り返し考えさせていきたい。発表の活動というと、事前に用意した内容を覚え、その場で正しく再生する活動というイメージがあるのでは

ないだろうか。本単元でめざす発表は、目的・場面・状況に応じて、自分が伝えたい事柄を、情報を整理しながら話すことである。当然ながら、伝える相手や目的が変われば、発表の内容も変わるはずである。本単元では「世界の人々に富士山周辺の生き物の魅力を伝える」という明確な目的のもと、どうすれば魅力が伝わるのかを考えさせていきたい。また、発表を考える過程で、友達と発表し合い、感想を伝え合ったり質問し合ったりすることを通して、自分の発表を再構成していくようにしたい。単元の各時間において、インプットとアウトプットのバランスを重視しつつ、それぞれの活動が単元のゴールに直結するように、毎時間のねらいを明確にしながら指導していく。

本単元における「②学習評価」については、話すこと（発表）の思考・判断・表現をどのように評価するのかという点に重点をおいて取り組んでいく。本単元では、記録に残す評価として、発表の様子や振り返りシートを評価材料とする。発表の評価、特に思考・判断・表現に関してはある一時点の活動のみで行うことは適切ではないと考えている。単元内に類似の言語活動を繰り返し設定し、児童の発表がどのように変容したのかを具体的に評価していきたい。その際に、ねらいがぶれないように、CAN-DO リストを用いて、できる限り明確な基準を設定したルーブリックを作成し、評価に活用していく。このルーブリックを児童と共有しながら学習を進めていく。また、記録には残さないものの、本単元では指導に生かす評価にも重点を置いている。毎時間の学習のねらいが明確になるのみならず、教師の授業改善や児童の学習改善につながるように、形成的評価を適切に行っていく。

以上のことを継続しながら、中学校にむけて定着を目指したい。

### 3 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標(第6学年)

話すこと [発表]	書くこと
身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ち等を、簡単な語句や基本的な表現等を用いて話すことができる。	例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

関係する領域別目標：話すこと[発表]ウ、書くことイ

### 4 単元の目標

富士山周辺の生き物の魅力を伝えるために、生き物の特徴について、伝えようとする内容を整理した上で話したり、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いたりすることができる。

### 5 言語材料

- 表現 I live～. I eat～. I have～. I can～. など
- 語彙 海の生き物 (whale など), 自然 (desert など), からだ (head など), 動物(bear など), 虫(ant など)

## 6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「発表」	<p>◎（知識） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現について理解している。</p> <p>◎（技能） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現を用いて、情報や考えなどを発表する技能を身に付けている。</p>	◎富士山周辺の生き物の魅力が伝わるように、情報や自分の考えなどを話している。	◎富士山周辺の生き物の魅力が伝わるように、情報や自分の考えなどを話そうとしている。
書くこと	<p>◎（知識） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現について理解している。</p> <p>◎（技能） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現を用いて、情報や考えなどを書く技能を身に付けている。</p>	◎富士山周辺の生き物の魅力が伝わるように、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。	◎複数単元にまたがって評価を行うため、次の単元で記録に残す評価を行うこととする。

## 7 単元の指導と評価の計画(全8時間)

時	目標（◆）主な活動（○）アクティビティ（・） 誌面化されている活動（【 】）	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	
1	<p>◆ 生き物についての説明や、発表のおおよその内容を理解し、学習のゴールをつかむ。</p> <p>【Review】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生で学習した総合的な学習の時間の資料を見ながら富士山周辺の生き物について思い出す。</li> <li>・ 教師が「ある生き物」のポスターを見せながら、英語で魅力を伝えるプレゼンテーションを聞き、考える。</li> </ul> <p>【Let's Sing】</p> <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャンツを聞き、言えるところを言う。</li> </ul> <p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.1～4の音声を聞いて、分かったこと、気づいたことをWSの1に記入する。</li> <li>・ 分かったこと、気づいたことを発表する。</li> </ul> <p>【Let's Read】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。</li> <li>・ P88の「わたしのせりふ」に「生き物たちが暮らす場所をたずねる」を書く。</li> </ul>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>【指導に生かす評価の観点】 話すこと（発表）（知・技）</p>
2	<p>◆ 自分が好きな動物の魅力（体の特徴）の伝え方を考える。</p> <p>【Small Talk】</p> <p>テーマ：What animals can you see in the sea?</p> <p>【Word Link】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「海の生き物」の単語を復唱する。</li> </ul> <p>【Let's think and Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物を1つ選び、その動物の魅力について考える。</li> <li>・ 特徴について eat, live, have を使って、どのように伝えるか考える。</li> </ul>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>【指導に生かす評価の観点】 話すこと（発表）（知・技）</p>
3	<p>◆ 自分が好きな動物の魅力（できること）について考える。</p> <p>【Small Talk】</p> <p>テーマ：What animal do you like?</p> <p>【Word Link】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自然」「動物」の単語を復唱する。</li> </ul>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>【指導に生かす評価の観点】</p>

	<p><b>【Let's think and Try】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ動物の魅力について考える。</li> <li>・できることについて can を使って、どのように伝えるか考える。</li> <li>・言い方が分からない表現を皆で考えたり、発表を聞いて感じたことを書いたりする。</li> </ul>				話すこと（発表）（思・判・表）
4	<p>◆自分が好きな動物の魅力について発表し、感想を伝え合ったりアドバイスをし合ったりする。</p> <p><b>【Let's Sing】</b></p> <p><b>【Let's think and Try】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ動物の魅力について考える。</li> <li>・魅力が伝わるように友だちに発表する。</li> <li>・言い方が分からない表現を皆で考えたり、発表を聞いて感じたことを書いたりする。</li> </ul>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><b>【指導に生かす評価の観点】</b> 話すこと（発表）（思・判・表）</p>
5	<p>◆自分が魅力を感じている富士山周辺の生き物を選び、魅力の伝え方について考える。</p> <p><b>【Let's Sing】</b></p> <p><b>【Let's think and Try】</b></p> <p>&lt;Step1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山に住む生き物を1つ選び、その動物の魅力について考える。</li> <li>・情報を調べ、伝えたいことをメモする。</li> <li>・前時までの学習を生かし、画像を使って、発表内容を考える。</li> </ul> <p>&lt;Step2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人グループで1人ずつ発表する。</li> <li>・より魅力的な内容になるように、意見を出し合う。</li> </ul> <p>&lt;Step3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えられなかった質問への答えを調べる。</li> <li>・内容を追加する。</li> </ul>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><b>【指導に生かす評価の観点】</b> 話すこと（発表）（思・判・表）</p>
6 本時	<p>◆5年生に魅力が伝わるように、富士山周辺の生き物について発表し、感想を伝え合ったりアドバイスをし合ったりする。</p> <p><b>【Small Talk】</b> テーマ：熊の生態について</p> <p><b>【Let's think and Try】</b></p> <p>&lt;Step1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時と異なる4人グループに分かれ、グループ内で1人ずつ発表する。</li> </ul> <p>&lt;Step2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばれた児童が発表する。</li> <li>・ICTを使い、コメントを書く。</li> <li>・より魅力的な説明になるよう全体で考える。</li> <li>・情報を調べ、5年生に伝わる表現を考える。</li> <li>・全体で考えたことを活かし、再度発表する。</li> </ul> <p>&lt;Step3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでより魅力的な内容を一つ付け加える。</li> <li>・一つ付け加えた内容を入れて再度グループで発表する。</li> </ul>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><b>【指導に生かす評価の観点】</b> 話すこと（発表）（思・判・表）</p>
7	<p>◆5年生に富士山の周りの生き物について発表する。</p> <p><b>【Small Talk】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル会話をもとに5年生と会話をする。</li> </ul> <p>テーマ：What animal do you like?</p> <p><b>【Let's think and Try】</b></p> <p>&lt;Step1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時でやり取りした内容を活かしながら、グループ内で発表の練習をする。</li> </ul> <p>&lt;Step2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容を使いながら魅力について発表する。</li> </ul> <p>&lt;Step3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生から質問を受けたり感想を聞いたりする。</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の取り組みと発表について振り返る。</li> </ul>	発	発	発	<p>◎（知識） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現について理解している。</p> <p>◎（技能） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現を用いて、情報や考えなどを発表する技能を身に付けている。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>◎（思）富士山周辺の生き物の魅力が伝わるように、情報や自分の考えなどを話している。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>◎（主）富士山周辺の生き物の魅力</p>

				が伝わるように、情報や自分の考えなどを話そうとしている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉
8	<p>◆自分が選んだ富士山周辺の生き物について魅力を紹介するポスターを完成させる。</p> <p><b>【Let's Sing】</b> ・元気に歌う。</p> <p><b>【Let's Chant】</b> ・チャンツを聞き、言う。</p> <p><b>【Let's think and Try】</b> ・前時までの魅力をもとに、ポスターを完成させる。</p>	書	書	<p>◎（知識） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現について理解している。 〈作成したポスター〉</p> <p>◎（技能） 生き物の特徴を表す語句や、 I live～.I eat～.I have～. I can～.などの表現を用いて、情報や考えなどを書く技能を身に付けている。 〈作成したポスター〉</p> <p>◎〈思〉富士山周辺の生き物の魅力が伝わるように、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。 〈作成したポスター〉</p> <p>◎〈主〉複数単元にまたがって評価を行うため、次の単元で記録に残す評価を行うこととする。</p>

## 8 本時の学習

- (1) 日時 令和4年11月17日（木）5校時（13:55～14:40）
- (2) 場所 外国語教室
- (3) 目標 富士山周辺の生き物の魅力について発表し、感想を伝え合ったり、アドバイスをし合ったりする。
- (4) 展開例

時間	児童の活動	指導者の活動	◎評価規準 (評価方法)
7	<p>○Greeting ・挨拶をする。</p> <p>○【Small Talk】 ・簡単なやり取りをする。 テーマ：熊の生態について</p>	<p>・全体に挨拶をする。 ・挨拶から繋げて、HRTとALT、さらには専科も加わり、児童に質問をしながら児童を巻き込むように話を進めていく。</p>	<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>【指導に生かす評価の観点】 話すこと(発表) (思・判・表)</p>
	<p>H: What's the date today? S: It's November 17th. A: November is very cold. Do you like November? S: Yes I do. A: I want to sleep all winter. H: All winter? Are you a bear? A: No, I'm not. J: You can see bears in Fujikawaguchiko Town. A: Really? Do you see bears in Fujikawaguchiko Town? S: No, I don't. J: In November, bears come to Fujikawaguchiko Town from the mountains. Do you know why? S: 冬眠するから? J: Yes. Bears want food before long winter sleep. A: I see. H: You can see many animals in Fujikawaguchiko Town and around Mt. Fuji.</p>		

	<p>○Today's goal</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてをつかむ。</li> <li>・めあてを声に出して読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてを提示し児童と確認する。</li> </ul>	
<p>富士山周辺の生き物の魅力について発表し，感想を伝え合ったり，アドバイスをし合ったりしよう</p>			
33	<p>○【Let's think and Try】</p> <p>&lt;Step1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時と異なる4人グループに分かれ，グループ内で1人ずつ発表する。</li> </ul> <p>&lt;Step2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選ばれた児童が発表する。</li> <li>・ICTを使い，コメントを書く。</li> <li>・より魅力的な説明になるよう全体で考える。</li> <li>・情報を調べ，五年生に伝わる表現を考える。</li> <li>・全体で考えたことを活かし，再度発表する。</li> </ul> <p>&lt;Step3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでより魅力的な内容を一つ付け加える。</li> <li>・一つ付け加えた内容を入れて再度グループで発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力が伝わるような発表とはどのような内容なのか全体で確認する。</li> <li>・活動の流れを確認する。</li> <li>・児童の発表の後，良かった点をコメントに書かせ，全体で共有する。</li> <li>・中間指導としてフィードバックをする。</li> <li>・コメントの内容や発言からより魅力的な説明になるような情報を定める。</li> <li>・児童から出された表現にアドバイスをする。</li> <li>・何が良かったのかを確認し，再度取り組むように指導する。</li> <li>・机間巡視をしながら，&lt;Step 2&gt;の内容が活かされるよう支援する。</li> </ul>	<p>中間指導の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発表をもとに，さらにどんな内容があれば魅力が増えるか全体で共有する。</li> </ul> <p>【内容面】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習表現を活用して発表内容を工夫している部分を全体で共有する。</li> </ul> <p>【内容面】</p>
5	<p>○振り返りシートを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付け加えた情報を記入する</li> </ul> <p>○Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいに照らして児童を称賛する。</li> <li>・全体に挨拶をする。</li> </ul>	

H:HRT A:ALT J:英語専科 S:児童

### (5) 評価

#### ○評価規準

- ・富士山周辺の生き物の魅力を伝えるために，生き物の特徴について，相手に伝わる簡単な語句や基本的な表現を用いて，話している。(思考・判断・表現)
- ・富士山周辺の生き物の魅力を伝えるために，生き物の特徴について，相手に伝わる簡単な語句や基本的な表現を用いて，話そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

○評価の具体(ルーブリック) 本時では使用せず、次時で使用する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	富士山周辺に住む自然の生き物について、相手に伝わる簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報をわかりやすく伝えることができる。	富士山周辺に住む自然の生き物について、相手に伝わる簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報をわかりやすく伝えている。	富士山周辺に住む自然の生き物について、相手に配慮しながら、重要語句を強調したり、間を置いたり、ジェスチャーや表情を使ったり、十分に工夫してたずねたり情報を伝えたりしようとしている。
B	富士山周辺に住む自然の生き物について、相手に伝わる簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報を伝えることができる。	富士山周辺に住む自然の生き物について、相手に伝わる簡単な語句や基本的な表現を用いて、情報を理解できる程度の英語で伝えている。	富士山周辺に住む自然の生き物について、相手に配慮しながら、重要語句を強調したり、間を置いたり、ジェスチャーや表情を使ったり、工夫してたずねたり情報を伝えたりしようとしている。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。

【想定する児童の発表例 思考・判断・表現 (Aの姿)】

I am a forest green treefrog.

I live on the trees.

I eat bugs.

I like spiders.

I have many boyfriends.

I can make eggs in the bubbles.

魅力を伝えるために、live,eat,have,can を使って紹介している。相手が知らない情報や驚きそうな情報を、わかりやすい英語表現で伝えようとしている。

【想定する児童の発表例 思考・判断・表現 (Bの姿)】

I am a forest green treefrog.

I live on the trees.

I eat bugs.

I have cute eyes.

I can jump.

魅力を伝えるために、live,eat,have,can を使って紹介している。一般的に多くの人を知り得る情報を中心に発表している。